

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む(1~8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休校明けの児童生徒の心のケアに努め、家庭とも連携を取りながら、例年通り行事などが行えない限りある中でも、できることを見つけ寄り添った指導ができています。 ・未だ登校できていない家庭との連携にも努めるなど、家庭との連携は十分に達成されている。 ・児童生徒の実態を把握し、工夫して笑顔を引き出す授業が計画され実施されている。 ・コロナでの休校中に限らず、学校とのつながりを保つ様々な取り組みが学習意欲に反映されている。 ・先生方は、大変真面目に熱心に教育活動に取り組んでおられることが、学校評価からうかがい知ることができている。学校に伺う度に見せていただく子どもたちの笑顔と先生方のパワフルな動きが、充実した学校生活を表しているといつも嬉しく拝見している。 ・成果が十分でない部分については、次年度の計画などをよく考えて取り組んでほしい。 	3.7
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る(9~15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り制限のない形で、社会を模擬体験できる授業ができています。 ・コロナの影響で例年通り活動できないことがあったが、最新の方法を駆使することで新たな教育活動を創造することができた。 ・1つ1つのことに時間をかけ、繰り返し指導を行うことにより自信につながられている。 ・様々な体験を通して豊かな心を育てることができています。 ・コロナの影響で十分な取組ができなかったが、学校内の取組を工夫し、児童生徒に色々体験させたことは評価できる。 	4
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む(16~21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の不安を軽減することで児童生徒の安心した学校生活の環境が改善されている。 ・休校中も家庭とのやりとりをなるべくとるよう心掛け、様々な想定をしながら安心安全に児童生徒の学校生活を守ることができていると感じる。 ・地域の方のあまようへの関心が高まった。このことにより地域の方々との交流が授業内容に組み込まれて、より豊かな授業実践となった。新聞やホームページ等を活用して、更なる情報発信をお願いしたい。 ・保護者の不安解消のために、話を聞く機会を増やしてほしい。 ・No17の項目が、評価できない回答が4分の1弱ある。評価できるようにする手立てはあるのか、学校の問題としてどのように捉えていたのか、また、今後どのように進めていくのか、よく話し合う必要がある。 	3.3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る(22~28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理意識は、特に高く持っておられる学校である。各関係機関とも連携され、取り組まれている。 ・定期的に、実践的な訓練を行い、防災に対する教職員の意識の向上が図られている。 	3.3
<p>■教育目標「自立と社会参加をめざし、生きる力を育てる」(1~4, 12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障がい特性も様々で多様化してきている中、一人ひとりが自分なりの意思表示の仕方を身に付けられるような様々なアプローチをおこない、社会参加に必要な力をつけていくことができていますと感じる。 ・体験的な学習が制限された一年であったが、教職員の熱意で社会を身近に感じ、社会に働きかける機会を設けることができた。 ・市内中心部へ移転して、本格的に活動する中で、地域との連携や発信に力を入れることで、子どもたちの成長も助けられるのではないのでしょうか。 	3.3
<p>■研究テーマ「コミュニケーションを育てる授業作り」(29~30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が指導技術を向上させて、自信を持って授業ができるよう、校内外の講師による研修ができた。 ・児童生徒が主体となるよう、一人ひとりに応じた指導や環境作りに努められながら、様々なコミュニケーション能力を育てるため、寄り添っていると感じる。 ・独自の工夫を凝らし、よく考えられている。 	3.3
<p>■センター的役割の充実(21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター的機能の充実を目指し、様々な研修に取り組んでいる。 ・コロナの中、活動が制限され思うようにできにくいと思うが、今できる発信を積極的におこなうことで、あまがさきの教育の充実を図ってほしい。 ・幼小中高での特別支援教育の体制が整ってきた。学校からは、個別的な対応ができる力量のある教師の育成が求められるようになっている。各学校園に向向いて、具体的なアドバイスができるよう、更なる支援の充実をお願いしたい。 	3
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B